

129日間の2学期スタート!



8月18日(水)、プール開放もなく、閑散としていた姉体小学校に子どもたちの元気な笑顔が戻り、2学期がスタートしました。登校してきた子どもたちの様子から、休み中の充実した生活を感じました。家庭や地域での子どもたちへの声がけと見守りありがとうございました。2学期も教職員一同、子どもたち一人ひとりの力を高め、発揮できるように一丸となって取り組んでまいります。引き続き御支援、御協力をいただきますようよろしくお願いいたします。始業式で6年生の高橋ひなのさんが「2学期にがんばりたいこと」として次のような発表をしました。

私が2学期頑張りたいことは三つあります。まず、学習面では、苦手な教科に積極的に取り組み、習ったことをその日のうちに復習することです。私は来年から中学生になるので苦手な教科を一つでも減らしたいからです。そして、その日のうちに復習することで習ったことをしっかり覚えることができると思ったからです。

次に生活面では、自分から挨拶をすることです。いつもよくこのめあてを立てているけれど、しっかりできているかと言ったらあまりできていないと思ったからです。

最後に運動面では、時間を決めて定期的に運動することです。1学期は運動をするときがばらばらだったので土日休みや放課後を活用して体力づくりに取り組んでいきたいと思います。

2学期に全校で頑張っていきたいことは、廊下歩行です。皆さんは廊下を歩くときに走らないように意識していますか。1学期の6月のめあて「右側を静かに歩こう」の取り組みでは、全クラス中5クラスが「廊下をきちんと歩けなかった」という結果になりました。これは、全校のみんな一人一人が気を付けていかなければいけないことだと思います。そして、走っている人を見かけたらお互いに注意し合うことも大切なことだと思います。1学期できなかったことを振り返り、2学期に改善していけるように頑張りましょう。そして、よりよい学校にしていけるように頑張りましょう。

キャップハンディ体験(6年生)



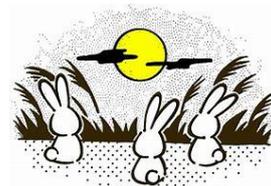
7月13日(火)6年生の子供たちが福祉学習(キャップハンディ体験)を行いました。奥州市社会福祉協議会の方を講師に白杖体験と車いすを補助する体験を行いました。白杖体験では、二人組になり一人は目隠しをして目の不自由な人の様子を体験します。もう一人は目の見えない人を目的の場所まで安全に連れていく役割を体験しました。また、車いすでは、マットを悪路に見立て通行したり、体育館のスロープを上り下りしたりする方法を体験しました。子供たちからは、「普段の歩きなれている廊下や階段も目隠しをすると途端に怖くなり誰かの助けがないと歩けない」「車いすに乗っているとちょっとの傾きでも怖い」「助けてくれる人がいると助かるけど申し訳ないという気持ちにもなった」といった感想が聞かれました。

力作が勢ぞろい(夏休み作品展示会)

子どもたちが夏休みに取り組んだ自由研究や工作などの作品展示会をしました。本校では、夏休みや冬休みに作品を制作することとし、また、夏休み又は冬休みのどちらかで自由研究に取り組むことにしています。「考える。」「試す。」「課題を見つける。」「改善する。」ことを繰り返す時間というのは子供たちの創造力を高めます。今回は県内のコロナウイルス感染症の広がりを受けて外部への公開はせずに児童のみの鑑賞会となりましたが、子どもたちは発表会をしたり、じっくり見て回ったりしながら、友達の発想の豊かさを感じ取っていました。



9月の予定



月	火	水	木	金
		1 心臓健診1年	2 職員会議	3 集金袋配布
6 読み聞かせ6年	7 見学学習(1年2年) クラブ 集金日	8 ALT アルミ缶回収 PTA常任委員会	9 校内研究会	10
13 読み聞かせ1年 教育相談~17日	14 家庭科支援6年 クラブ	15 見学学習3年 家庭科支援6年	16 委員会 校内研究会	17 ALT
20 敬老の日	21 クラブ	22 ノーメディアデー	23 秋分の日	24 ノーメディアデー 代表委員会
27	28 クラブ 弁当 児童朝会	29 弁当	30 校内研究会	